

# 高清水城址公園整備基本構想

令和6年6月



目 次

---

1	構想策定の目的	1
2	跡地利用の基本的な考え方	1
3	整備区域	1
4	現状と課題	2
5	公園整備のコンセプト	2
6	整備のテーマ	2
7	地域の動きと住民意向の把握	3
8	想定される主な機能・施設	3
9	ゾーニングのイメージ	4
10	整備効果	4
11	市民協働による管理運営の体制整備	4

# 1 構想策定の目的

全国的に少子高齢化が進む現在、高清水地区においても人口減少の進行とともに地域住民間の結びつきが薄れてきており、新たな地域コミュニティづくりが求められている。

昭和22年に開校した高清水中学校は、1532年に築城されたといわれる高清水城址の一角にあり、高清水城外濠公園とともに地域のシンボルとなってきたが、栗原市学校再編計画に基づき平成31年3月に閉校したことから、その跡地を有効活用し、新たな地域コミュニティの拠点とするため、地域住民が主体となって検討を重ねて決定した「(仮称)高清水城址公園」整備の方向性を示すことを目的に策定するものである。

# 2 跡地利用の基本的な考え方

## ◆栗原市学校再編計画

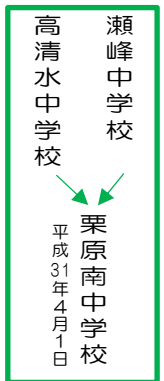
高清水中学校は平成31年度までに隣接する瀬峰地区にある瀬峰中学校との再編が計画され、平成31年(2019年)3月に閉校し、同年4月1日より栗原南中学校としてスタートした。

## ◆旧高清水中学校の跡地利用を検討するに至った経緯

- 学校再編により、旧高清水中学校の校舎等は使用しなくなった。
- 校庭は、高清水地区の運動会や、夏まつりでの使用を見込まれていた。
- 令和4年3月に発生した福島県沖地震で、旧校舎、旧体育館が大きな被害を受けた。

## ◆旧高清水中学校跡地利用検討会

高清水地域コミュニティ推進協議会に地域の関連団体の代表等で構成する。(令和4年12月設立)  
地域が考える公園整備のコンセプトや必要な機能等の検討を行う。



地域の主な意見
● 高清水城址公園として公園化する。
● 芝生の多目的広場が必要。
● 子ども遊園の設置。
● パークゴルフ場。
● 校舎は日本語学校として再利用。
● 体育館は体育施設やイベント施設として利用。

市の考え方
● 閉校した旧中学校のすべての施設を使用しない。
● 地域で使用する場合は、地域が維持管理を行う。
● 跡地利用の検討範囲は旧中学校の敷地のみ。
● 市の支援が必要な場合は、市に依頼することと、地域で行うことを整理して、市と協議すること。



まとめ
● 校舎、体育館、プール等の建築物は全て解体撤去する。
● 敷地内の歴史的な財産や、今後の公園整備に有益なものは残す。
● 跡地全体を公園として整備する。市が初期整備を行う。
● 整備された公園は、市が地域へ管理用の資機材及び継続した管理費用の支援を行い、地域が管理運営を行う。
● 必要な施設や機能などは、引き続き地域で検討を進める。

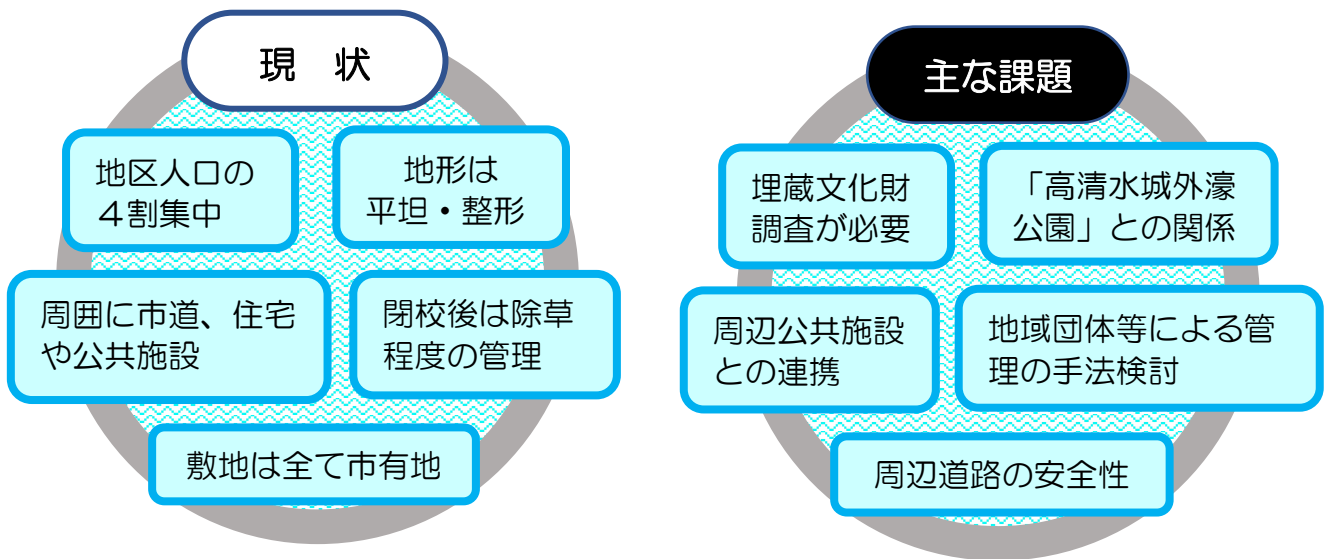
# 3 整備区域

全7筆 全て市有地



所在地番	登記地目	登記面積(m <sup>2</sup> )
高清水東館 10-3	宅地	35.19
高清水東館 35-1	学校用地	19,413
高清水東館 40-4	学校用地	103
高清水東館 41-5	学校用地	1,715
高清水東館 45-2	田	2,578
高清水東館 46-4	畑	98
高清水水の手 17	宅地	2,648.59
	合計	26,590.78

## 4 現状と課題



## 5 公園整備のコンセプト

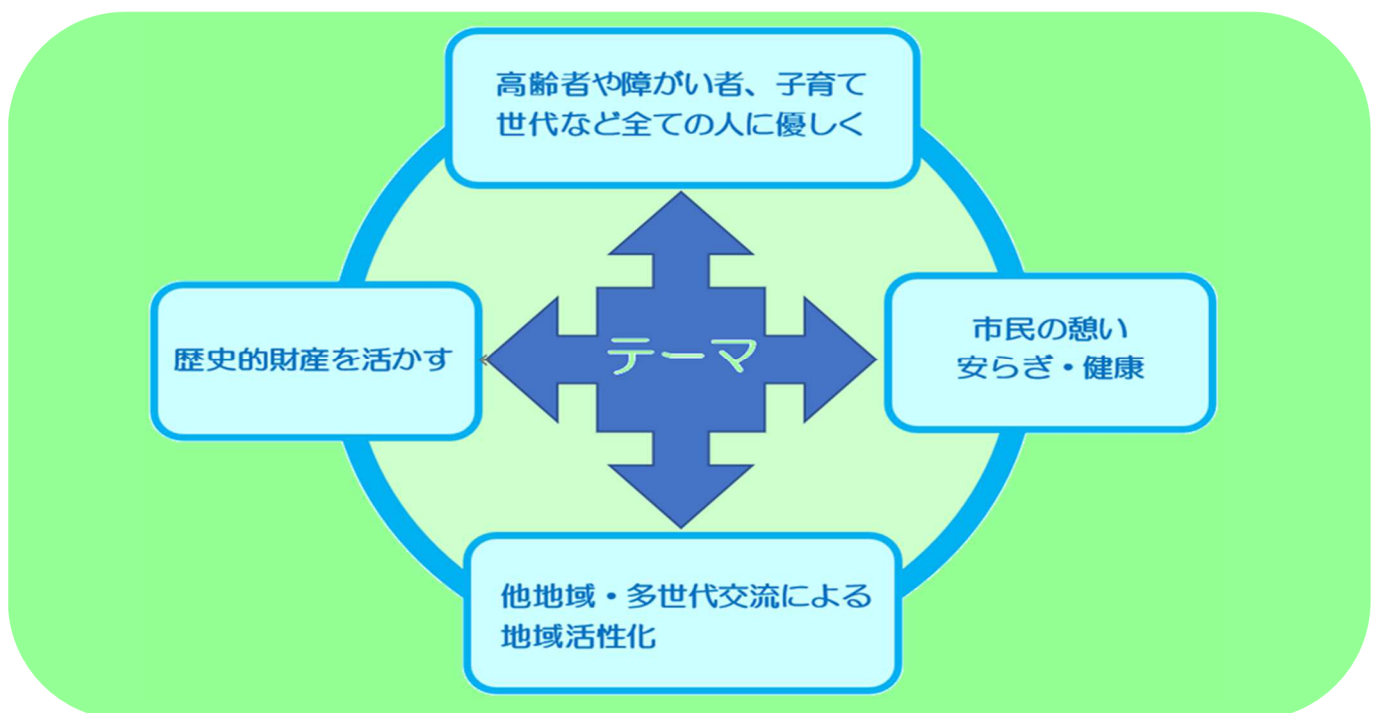
高清水地区にとって、深い愛惜の念がある「高清水城址」という歴史、及び高清水中学校としての72年の歴史・伝統・功績を踏まえ、不変的に

# 【地域が誇る 市民が憩え、健やかな未来を想う】

場とする。

## 6 整備のテーマ

栗原市の総合計画等関連計画と整合を図りながら、国道4号や幹線道路からのアクセスが良好で、地区の中心部に立地する好条件と、城跡という歴史的財産を生かした、誰にも優しい市民の憩いと交流の場、地域の賑わいの場として閉校した中学校跡地を公園化し活用する。



## 7 地域の動きと住民意向の把握

### ◆地域と市の動き

平成31年	3月	高清水中学校閉校
令和4年	2月	跡地利用に関する住民アンケート実施
令和4年12月		旧高清水中学校跡地利用検討会設立
令和5年	1月	第1回旧高清水中学校跡地利用検討会 以降、第7回（令和6年1月）まで開催
令和5年	7月	子育て世代対象のアンケート実施
令和6年	1月	栗原市長へ整備要望書の提出

### 【高清水地区住民を対象にしたアンケート】

高清水地区行政区長会が高清水地区全世帯を対象に実施

内容：跡地活用方法についての自由記述式 対象：1,200世帯（毎戸）  
 期間：令和4年2月16日～令和4年3月10日 結果：回答世帯 86世帯（7.2%）  
 概要：主要な意見は次のとおり

- ・多目的・世代間交流広場（イベント開催やスポーツなどにも使える）
- ・公園（現在の庭園利用や外濠公園等との関連付け）
- ・災害防災拠点群の中核化（避難場所、ヘリポート、支援物資集配、訓練等）
- ・プールをスケートボードパーク化
- ・パークゴルフ場



高清水地区行政区長会と栗原市との協議が行われ、区長会は

「地域にとって深い愛惜の念がある、高清水城址という歴史及び高清水中学校の72年の歴史、伝統を踏まえ、不変的に地域が自慢できる、市民が憩える、そして健やかな未来を想えるような跡地利用」という意見を市に申し入れた。



### 【子育て世代を対象にしたアンケート】

検討会が高清水幼保・小学校・中学校の保護者226世帯対象に実施 回答 74世帯（32.7%）

#### ●公園に行く頻度

週に1回程度の世帯が4割 6割弱の世帯がほとんど行かない。

#### ●よく行く公園

3割が高清水地区内の公園、2割は高清水地区以外の市内の公園、5割が市外の公園。

#### ●よく行く公園例

「化女沼古代の里」「長沼フットピア公園」「万葉クリエイティブパーク」「加瀬沼公園」  
 「高清水城外濠公園」「まるさん児童遊園」

#### ●自由意見

運動やスポーツ 自然に親しめる 芝生広場 噴水・池 売店・カフェなど 大型遊具

## 8 想定される主な機能・施設

<b>【管理施設】</b> 管理棟 トイレ 駐車場 街灯	<b>【子ども広場】</b> 年代別遊具 大型遊具	<b>【休憩施設】</b> 四阿 ベンチ 飲食機能 水飲み場	<b>【イベント施設】</b> 野外ステージ イベント広場	<b>【健康づくり】</b> 遊歩道 ウォーキング ジョギング 軽スポーツ	<b>【多目的広場】</b> 芝生広場 イベント開催 ボール遊び	<b>【歴史を学ぶ】</b> 歴史と花木の回廊 遊歩道 季節の花 憩いの空間
--	---------------------------------	---	-------------------------------------	---	---	---

## 9ゾーニングのイメージ

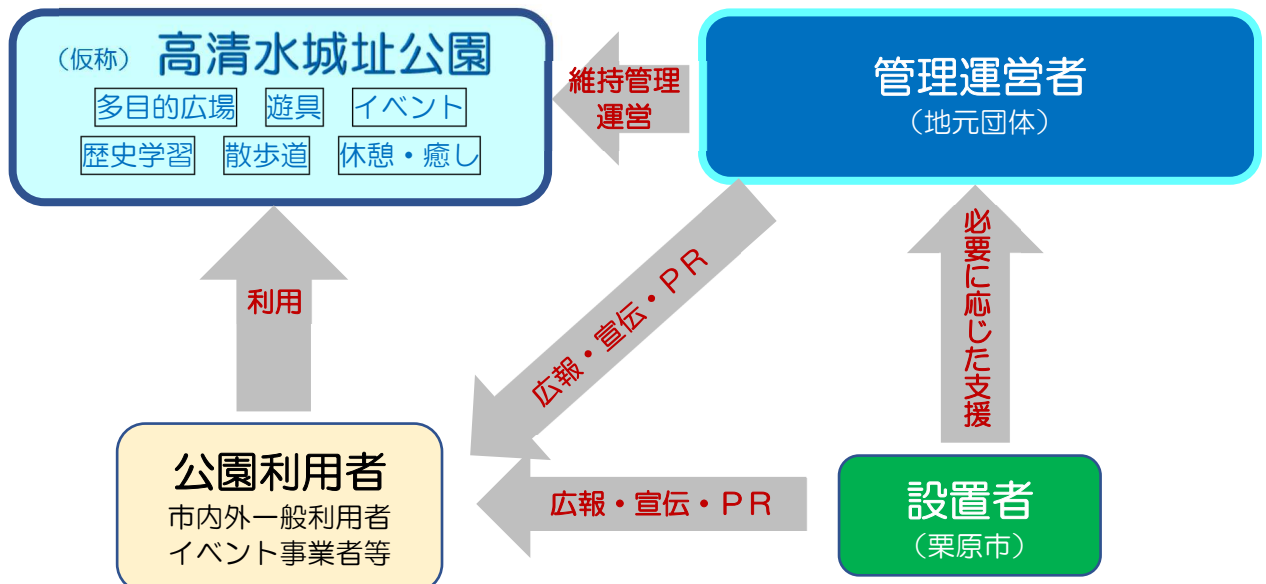


## 10 整備効果

- ◆歩いて行ける近場に広大な癒しの空間が生まれること。
- ◆地域の歴史を学ぶ場として、既存の清水城外濠公園と一体的な活用が期待されること。
- ◆来場しやすい場所であることから、各種イベント等への集客が容易であること。
- ◆地元団体が管理運営することで、スピード感のある管理と、経費の抑制が見込まれること。
- ◆公共団体や、企業、民間団体のイベント利用を見込めること。

## 11 市民協働による管理運営の体制整備

公園の整備後は、市と地域のこれまでの協議に基づき「地元団体」が運営管理を行い、市はこの管理運営に対し、必要な支援を行うものとする。







高清水城址公園整備基本構想  
令和6年6月 宮城県栗原市  
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

---

栗原市企画部企画課